

一般廃棄物処理施設整備事業について

号外
No.23
2026.3

環境衛生課 ☎0185-89-2426
<https://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/>

令和8年4月1日から新たなごみ処理施設 能代山本クリーンセンターが稼働開始

能代山本広域市町村圏組合では、令和4年度から新たなごみ処理施設の整備を進めてきました。

新たなごみ処理施設の名称は「能代山本クリーンセンター」で、令和8年度から27年度までの20年間、あきた白神環境テクノロジー株式会社が運営します。

現在、段階的にごみ処理の試運転を行っています。施設の機能試験や、作業手順の確認を行い、4月からの本稼働に向けての準備を進めています。



施設全景(令和8年1月7日撮影)

◎施設の概要について

施設名称		能代山本クリーンセンター
所在地		能代市竹生字天神谷地122番地1
可燃ごみ処理施設	処理能力	80t/日 (40t/日×2炉) (24時間連続運転)
	処理方式	連続運転式ごみ焼却炉 (ストーカ式)
不燃ごみ・粗大ごみ処理施設	処理能力	5t/日
	処理方式	切断、破碎、選別
稼働開始		令和8年4月1日

最新技術で環境負荷を低減、災害に強いごみ処理施設

能代山本クリーンセンターでは、環境負荷を低減するため、ごみを燃やしたときに発生する排ガスの有害物質を効率的に除去し、公害防止基準を遵守します。

ごみクレーンの自動運転による作業の効率化をはじめ、燃焼状態や設備の異常を検知するシステムや、遠隔監視システムなどの技術を導入し、安全で安定的なごみ処理を行います。

また、地震や水害などで施設が被災した場合でも迅速に復旧できる設備を備えた災害にも強い施設となっています。

ごみ焼却で発生する熱を有効活用し、循環型社会を構築

能代山本クリーンセンターでは、家庭などから出されるごみを燃やした熱を利用して発電を行い、最大1,290kW、一般家庭約2,500世帯分の電力を生むことができます。発電した電力は、施設内で使われ、余剰分は売電します。また、冬期間は発生した熱を搬入路のロードヒーティングとして使用します。

能代山本クリーンセンターは、圏域住民の衛生的な暮らしを支えるごみ処理の中核施設であるとともに、資源循環型のエネルギー拠点として、環境と調和しながら、地域の皆様に身近な施設を目指していきます。

試運転の状況

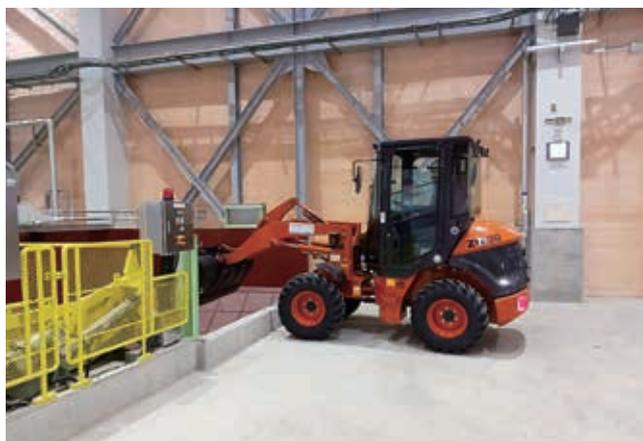


ごみクレーン



2号炉内

焼却炉



不燃ごみ投入状況



低速回転式破碎機

ごみの受入時間

- 9:00～12:00
- 13:00～16:30

休業日

- 日曜日、1月1日から1月3日

料金（税込）

100kg以下	1,000円
100kgを超える場合	10kgごと（端数切上）に100円を加算

● 支払方法

現金、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済

ごみの分け方・出し方

● ごみの分別方法

お住まいの市町の分別方法に従ってください。
詳しくはホームページでご確認ください。

● ごみの搬入

可燃ごみ	可燃ごみ処理施設へ
不燃ごみ・粗大ごみ	不燃ごみ・粗大ごみ処理施設へ
可燃ごみと不燃ごみ・粗大ごみ（同時搬入）	不燃ごみ・粗大ごみ処理施設へ

※可燃ごみ、不燃ごみ・粗大ごみが混じらないように分別してください。
分別がされてないごみ、処理できないごみを搬入した場合は持ち帰りとなります。



ごみ計量機



ごみ計量状況

所在地・施設配置図



●能代山本クリーンセンターに関するお問い合わせ

能代山本広域市町村圏組合 環境衛生課	☎0185-89-2426
能代山本クリーンセンター	☎0185-70-6116 (※4月1日以降)

南部清掃工場、北部粗大ごみ処理工場での受入れは 令和8年3月28日(土)16:30までとなります

3月28日(土)まで	南部清掃工場、北部粗大ごみ処理工場
3月29日(日)～3月31日(火)	受け付けておりません
4月 1日(水)以降	能代山本クリーンセンター